

# 令和4年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号:27-4

担当部局・担当課名:危機管理局 防災・危機管理課

事業名	富山県防災士養成事業費	評価結果	拡充
-----	-------------	------	----

## 事業レビューにおいて発言のあった主な意見

<p><b>【委員の意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県と市町村が連携して、防災士を地域に網羅的に広めていくことが防災力の強化となる。</li> <li>・防災リーダーだけでなく、防災知識を持つ方を増やすためにも防災士を数多く養成すべき。</li> <li>・防災士に地域の防災リーダーとして活躍いただくため、受講料は無料にする一方で、資格取得後のスキルアップの取組みも重要。</li> <li>・防災士を増やす観点から、会社単位へ防災士を増やすためのアプローチが必要ではないか。</li> <li>・目標人数について、各地域(市町村や行政区など)のニーズを踏まえ、きめ細かく設定する必要がある。弱いところにはもっと働きかけるとか、強いところは良い事例として横展開するなどが県の仕事ではないか。</li> </ul> <p><b>【県民評価者の意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ごとに何人の防災士が必要かという目標数を持ち、必要数の確保に向けて受講しやすい環境づくりが必要。負担金、手数料や教材費等の全額公費負担でもよい。</li> <li>・若い防災士を確保するためには企業等の理解、協力が必要ではないか。また、防災士を補助する地域リーダーといった人の養成も必要なのではないか。</li> </ul>
---

## 県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者の評価シートによる評価					県民評価者総数	17
評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (研修しなくてよい)	役割分担 見直し	抜本的改善 (この研修以外の事業 を行うべき)	一部改善 (やり方をもう少し把握 してから行う)	現行どおり ・拡充 【評価を細分類】 (現行どおり→【現行】 受講者負担減・県補助を 上げる→【拡充】)	
	0	0	1	3	【現行】3、【拡充】10	
県民評価者の 主な評価 シート コメント	評価結果 と同じ 評価	<p><b>【拡充】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、地域防災力の強化は重要な課題である。県として必要な防災士数の確保に向けて、受講しやすい環境づくり(負担金の軽減等)と合格者の積極的な活用(地域防災計画の策定、避難訓練の実施等)を図るべきである。</li> <li>・リーダーにこだわらず防災の地域を広げるためにも防災士を増やすところに視点をもっていってもいいのではないか。そのためには受講料負担を減らしてもいいのではないか。もっと若い人(学生、20~30代)に伝わるような広報も考えて欲しい。</li> <li>・富山県のように大きな災害が少ない県は、防災士としていざというとき大きな役割を担っていけるのか。知識の更新が必要ではないか。老若男女、広く資格取得を進めていく必要がありそうです。</li> <li>・防災士の資格を取った後のフォローアップを行い、この事業の有効性を高めていただきたい。自主防災組織ごとに必要人数を割り当てた積み上げで防災士人数の目標値を高めるべき。</li> </ul>				
	上記以外	<p><b>【一部改善】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災リーダーの役割を明確にし、市町村ごとに何人必要か検討すべき。</li> <li>・富山県はあまり災害がなく、経験を積めないと思うので、防災士の方が代表して何人か、県外の被災地に行き研修ができればよい。</li> </ul> <p><b>【現行どおり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の公費負担で十分です。</li> </ul>				

事業名	富山県防災士養成事業費	評価結果	拡充
-----	-------------	------	----

**【参考】委員による評価**

				委員総数	4
評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (研修しなくてよい)	役割分担 見直し	抜本的改善 (この研修以外の事業 を行うべき)	一部改善 (やり方をもう少し把握 してから行う)	現行どおり ・拡充 <b>【評価を細分類】</b> (現行どおり→【現行】 受講者負担減・県補助を 上げる→【拡充】)
	0	0	0	1	<b>【現行】0、【拡充】3</b>
委員の 主な コメント	<p><b>【拡充】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災士の人数をひたすら増やすことが質を高めること、防災意識の底上げにもつながると思う。</li> <li>・地域ごとに必要な防災リーダー数を県全体で市町村と検討し、目標設定をフォローした方がよい。</li> <li>・やみくもに増やすのではなく「どこに誰が、どれだけ必要」を明確にした上での施策が必要となってくる。(資格を取得して)人を助けたい善意に対して、受講料等の金額が高いと感じる。</li> </ul> <p><b>【一部改善】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災士の数を求める場合には企業単位の取得をお願いしていく。より深く関わってもらう為には、取得費用は無料にする一方で2年に1度更新を義務にして、更新しない人には失効させる。防災リーダーになって欲しい人(ターゲット像)を県として明確にした方が良い。</li> </ul>				

**県の対応**

対応方針	拡充	事業内容拡充			
	<p>○防災士養成研修について、市町村が推薦する受講者の受講料を無料(現行1万円)とするとともに、各市町村からより多くの人を推薦していただけるよう受講者数を拡大(160名→360名)</p> <p>○研修回数を年2回から4回とし、受講者数を240名から480名に倍増</p>				
R5当初予算 での対応	R5当初予算(案)	9,000(千円)	R4当初予算	5,650(千円)	増減額 +3,350(千円)
	増減理由	・研修回数及び受講者数の増によるもの			

事業名	富山県防災士養成事業費	評価結果	拡充
-----	-------------	------	----

当初予算編成プロセスの見える化

令和5年度当初予算	要求状況	要求額	9,000(千円)	前年度予算額	5,650(千円)	
		事業の目的	近年の災害が激甚化している中で、地域の「共助」の担い手として「防災士」の育成を図る			
		事業内容	地域に防災の専門知識を持った防災士を数多く養成するため、県主催の防災士養成研修を以下のとおり拡大して実施 ・市町村から推薦を受けた受講者の受講料を無料化(従来1万円) ・研修回数を2回から4回とし、受講者数を240名から480名に倍増			
		積算内訳	研修の運営委託6,440千円、教本・教材購入費2,560千円			
	予算編成過程における議論	・レビューにおける意見を踏まえ、市町村からの推薦者の受講料を無料化するなど、適切な見直しが行われている。 ・令和10年度までに、県内の各自主防災組織あたり2名ずつ防災士を配置できるよう計画的に養成すること。				
	最終的な予算案	予算額	9,000(千円)	/		
		要求時点からの変更点	変更なし			